

「京都市環境基本計画（2016～2025）」環境指標一覧

○ 長期的目標 1 持続的な発展が可能となる低炭素のまち

<主観的指標>

- 豪雨や熱中症など地球温暖化の影響と思われる危機が自分たちの生活に迫りつつあると感じるか。
- 省エネルギーや節電の取組が年々進んでいると感じるか。
- 再生可能エネルギー導入の取組が年々進んでいると感じるか。
- 徒歩や自転車、公共交通機関優先の取組が年々進んでいると感じるか。

<客観的指標>

客観的指標	過去の実績値 (年度)	現状値 (年度)	目標値 (年度)
温室効果ガス総排出量削減率 (H2 年度比)	6.9% (H18 年度)	-1.1% (H25 年度)	25% (H32 年度) / 40% (H42 年度)
エネルギー消費量削減率 (H22 年度比)	— (H22 年度)	9.5% (H25 年度)	15% (H32 年度)
再生可能エネルギー導入量	530TJ ^{※1} (H22 年度)	770TJ (H26 年度)	1,690TJ ^{※2} (H22 年度比 3 倍以上) (H32 年度)

※1 TJ : J (ジュール) はエネルギーの量を表す単位で、T (テラ) は 10 の 12 乗 (1 兆) を表します。

※2 1,690TJ : 市内の御家庭の年間消費電力量に換算すると、約 12 万世帯分に相当します。

○ 長期的目標 2 自然環境と調和した快適で安全・安心なまち

<主観的指標>

- 空気や河川の水がきれいに保たれていると感じるか。
- 多様な生きものが生息する良好な自然環境が保たれていると感じるか。
- 自然環境と調和した文化や暮らしが広がっていると感じるか。

<客観的指標>

客観的指標	過去の実績値 (年度)	現状値 (年度)	目標値 (年度)
大気汚染に係る市保全基準 達成状況 [※]	73.3% (H18 年度)	77.6% (H26 年度)	100%
水質汚濁に係る市保全基準 達成状況 [※]	81.0% (H18 年度)	88.0% (H26 年度)	100%
京の生きもの・文化協働再生 プロジェクト取組団体数		24 団体 (H26 年度)	150 団体 (H32 年度)

※ 市保全基準達成状況

市保全基準：市民の健康を保護し、快適な生活環境及び良好な自然環境を保全するうえで維持されることが望ましい基準として、国で定める環境基準より厳しい基準等を本市が独自に制定しているもの

達成状況：測定項目ごとの市保全基準達成割合（市保全基準を達成した測定地点数／全測定地点数）を平均したもの

○ 長期的目標 3 資源・エネルギーの有効利用と環境負荷の低減を図る循環型のまち

<主観的指標>

- マイバッグの携帯などのごみを出さない暮らしが広がっていると感じるか。
- ごみを分別して出せる拠点が身近にあり、ごみの分別・リサイクルが進んでいると感じるか。

<客観的指標>

客観的指標	過去の実績値 (年度)	現状値 (年度)	目標値 (年度)
一般廃棄物（ごみ）の市受入量	65.3 万トン (H18 年度)	46.1 万トン (H26 年度)	39 万トン (H32 年度)
ごみ焼却量	62.0 万トン (H18 年度)	43.5 万トン (H26 年度)	35 万トン (H32 年度)

○ 長期的目標 4 環境保全を総合的に推進するためのひと・しくみづくり

<主観的指標>

- 学校や会社、地域で環境学習や環境保全活動の機会が増えていると感じるか。
- 環境に配慮したライフスタイルが広がっていると感じるか。

<客観的指標>

客観的指標	過去の実績値 (年度)	現状値 (年度)	目標値 (年度)
環境保全活動プログラム参加者数※	198,295 人 (H18 年度)	193,810 人 (H26 年度)	250,000 人 (H32 年度)
京の生きもの・文化協働再生プロジェクト取組団体数（再掲）		24 団体 (H26 年度)	150 団体 (H32 年度)
KES 認証保有件数	439 件 (H18 年度)	949 件 (H26 年度)	1,100 件 (H32 年度)

※ 環境保全活動プログラム参加者数：自然体験学習の場の利用者数、京エコロジーセンターにおけるエコ学習やその他環境学習関連事業への参加者数の合計